



福岡県小郡市大板井1143-1  
 電話番号 0942-72-7221  
 FAX 0942-72-7222



発行人  
 こぐま福祉会「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



### 就労セミナー

二月十五日(土)、就労移行支援事業所 Work Step では、就労セミナーに参加し、演題報告を行いました。

今まではこぐま福祉会内 Work Step にて主催していましたが、今年度は小郡市自立支援協議会が主催することにより、小郡市全体で就労について考えました。

内容としては、『障害者の「就労」というテーマを元に、小郡にある就労系事業所のスタッフが登壇し、事業・活動の紹介、就職事例、また当事者の方から「生活と仕事」についての話がありました。Work Step からは、「訓練内容」について、日々訓練生が頑張っていることを報告し、また、今までの経験を活かし受付・司会進行・お弁当配布などの実行委員としても参加しました。

来場者も多く、ディスカッション形式となりました。大規模な行事で緊張しましたが、練習した成果を出し役割を果たすことができ、就労の意欲を高めることができました。臨機応変な対応を体験することもでき、とても良い機会となりました。

また、これだけ多くの方々が「就労」について関心が高いことを感じ、私自身も障害がある方のさまざまな社会参加の形を考える機会として、とても有意義な時間となりました。



(就労支援員 吉浦)

☆ななつ星グループ☆

新グループが誕生。その名も「ななつ星グループ」搭乗者5名(小1~2)。全速安全運転中!

活動の前半は、自分の体を知る為に様々な動きに挑戦したり、ペアで協調して動くことでやりとりをする力に繋がるような運動の活動に取り組み、後半はいろんなゲームをする中で、ルール理解や他者の気持ちの読み取り等の課題に取り組んでいます。活動のおしまいは絵本や話を聞く場面もあります。月2回ですが、みんなの心に残っていく時間を作っていきたいと思ひます。(グループ担当 福田)

☆とらっくグループ☆

とらっくグループは現在、年少・年中児8名が在籍しています。『集団のルールや自分のすべきことを理解して活動に参加し、達成感を持つ・他児に言葉で伝えることが出来るようになる・他児と遊びを共有して楽しむ』事を目標に元気いっぱい活動を行っています。例えば片栗粉遊びでは周りのお友だちに刺激され、触るのが苦手なお友だちも楽しく取り組むことができ、スタンプラリーでは二人組になり、部屋を出て、『こっちだよ!』『あっちじゃない?』と協力しながらたくさんシールを集めました!

これからもお友だちと一緒にあそびを通して目標達成できるよう頑張りたいと思ひます。(グループ担当 鎌田)



☆ばすグループ☆

ばすグループには現在、年中児8名が在籍しています。『スタッフの介入により、他児と遊びを共有して楽しめる・集団のルールや自分のすべきことを理解して活動に参加して達成感をもつ・他児に言葉で表現や伝達ができるようになる』事を目標に運動や制作、ごっこあそびやルールあそびを行っています。

とっても元気いっぱいの男子クラス!活動の中でくやし涙を流したり、うれしい時や成功した時は満面の笑みをうかべたりと、子どもたちの表情はいきいきしています。(グループ担当 宮永)

祝就職

就労移行支援事業所 Work Step へは、今年度三名の方が就職されました。就職された皆様をご紹介いたします。

Portrait of 柴田 理絵さん (Shibata Rie) with job details: 医療法人社団芳英会 宮の陣病院, 11月1日就職, 病院内清掃業務.

Portrait of 樋口 孝志さん (Higuchi Takashi) with job details: 株式会社 大創産業 ダイソーゆめマート うきは店, 8月1日就職, 店舗内業務.

Portrait of 松本 剛裕さん (Matsumoto Takahiro) with job details: 株式会社 エルス, 5月23日就職, クリーニング業務.

本当におめでとうございませう。(生活支援員 久佐木)

受付からのお願い

受給者証の取得、変更等により確認をいたしますので、窓口にてご提出下さいませうお願い致します。なお、保険証に關しましては、月に一回の提出が義務付けられています。(受付 有吉)

編集後記

平成二十五年もあつと言ひ間で、残すところ一ヶ月になりましたね。『そら』はいかがでしたでしょうか? 今年度『そら』は三つのリニューアルを行いました。まずトップページにこぐま福祉会の様々な活動・行事等を写真付きで紹介しました。次に『そら』の印刷方法を変更し、より見やすいものになりました。そして、職員紹介の記事を「こぐまLINE」として再スタートしました。

今後皆様楽しんで読んで頂けるような『そら』を作りたいと思ひますので、ご意見・ご要望などございましたら、お気軽に声をおかけ下さい。(そら委員長 木下)

- 行事予定: 12日(水)避難訓練, 18日(火)ゆう鍛錬遠足, 27日(木)お祝い会, 28日(金)~31日(月)新年度準備のため休園, ※日中一時・愛らんど・Work Step べあクラブは28日(金)まで開所

4月1日(火)始園式

《交流保育》 3月11日(火)天使幼稚園



たなか かずきくん  
明るく元気に通います！

たかはし みゆちゃん  
ひらがなが読めるようになりたい。

こんどう ゆうこちゃん  
お友達と仲良く楽しく頑張ります。

しき いいまちゃん  
学校遠いけど頑張ります。

# 就学 おめでとう

まつうら ゆうとくん  
みんなと仲良く出来るよう頑張る。勉強も！

たかはら はるとくん  
いっぱい出来る事を増やすぞ！！

あおき りおちゃん  
小学校に早く慣れて、楽しく過ごす！

にしやま かずしくん  
元気に楽しく過ごしたいです。

くらかけ えりなちゃん  
笑顔で元気に小学校に通います！

もりがわら けんしくん  
早寝・早起きして楽しく登校します。

しき ともみちゃん  
学校、楽しむぞ！！

うちやま ゆうせいくん  
お友達とたくさんあそびたいです。

まつもと りょうまくん  
学校、楽しみだなあ。

心の窓



かぶとむしグループ  
にしやま かずし  
西山 和志くん

和志は、平成十九年八月に長男として産まれました。和志には、六歳年上の姉がいます。上の子を産んでから、子どもがなかなか授からず、諦めていた頃に和志を授かり、家族で喜んだ事を思い出します。新生児の頃は、ミルクを飲んでもよく吐き出して体重が増えない時期もありましたが、元気に育ってくれました。でも、一歳六ヶ月健診の通知が来て、健診票の項目に出来ない事が多いのに気付き、市の療育相談所へ相談に行き、こぐまを紹介してもらいました。こぐまで診察を受け、先生から「自閉症の疑いがある」と言われました。当時の私には知識もなく、ネットや本で調べたりしましたが、まだ信じられませんでした。気持ちの整理がつかないまま、週一回の集団療育グループに通い、二歳になった頃、診察を受け「自閉症」と診断された日々でした。



二歳を過ぎた頃、ゆうの集団療育に母子通園する事になりました。通園当初は、教室から飛び出したり、椅子に座れなかったり、癩癩を起し自分の頭を手で叩き、床や壁に叩きついたり、そんな和志を見ているだけで涙が止まりませんでした。でも、和志の事をもっと知りたいと思う様になり、療育と一緒にする事で先生方にアドバイスをもらったり、学習会など勉強の場を与えて頂き、時間はかかりましたが、和志の障がいを受け入れられる様になりました。それに、こぐまのお母さん達と話す事で悩みを共感したり、私が落ち込んでいると先生方やお母さん達が励ましてくれて、一人じゃないんだと勇気づけられ本当に救われました。少しづつ単独通園になり、集団生活の中で先生やお友達にも関心が出てきて、先生に意思を伝えたり、お友達とも一緒に遊んだりする様になりました。



個別での訓練、和志にあった支援を考えて下さり、今では自分で絵や写真カードで要求したり、嫌いなトイレにも見通しを立てる事で、自分で行ける様になりました。四月から小学生になります。和志は季節の変わり目や環境の変化に弱いので、ここでの経験を活かし、和志のペースで楽しく過ごせる様に一緒に頑張っていくと思えます。こぐまで皆さんと出逢えた事は、私達にとってかけがえのない宝物です。本当に支えて下さり有難うございます。これからも宜しくお願います。(西山和志の母)



統括 岸 良瑩

ホッとする時、場所がありますか？大切にしていますか？何も考えない時間。何も考えなくていい時間って、持っていますか？なかなかつくれないのが現実ではないでしょうか。私は先月、ある機会に恵まれて、なんとなく忘れがちな、省略してしまいがちな、そんな余裕の時間を持てていないことに気付き、その大切さを痛感しました。それは、なんとなく気忙しく、雑踏にまぎれ、意図的に避け、静寂に逃げ場を求める毎日だった自分に気付く、貴重な機会でもありました。今までにないほど静寂な自分一人の時間は、体がダウンして、半強制的に与えられました。ずっと視界に入る景色を窓越しに遠くから眺めていました。遠くから眺めていると建物が見えなくなり、無機質な街並みでした。同じ景色でも、朝日に照らされるのと夕日では全く風景が変わり、遠くまで確認できない人の息づかいまでも違うような気持ちになりました。そんな風景を眺めながら一人で食事をいただく。そんな時間の流れは、とてもゆっくりで心静かです。体調も戻り、無理のない程度にその場所にコーヒーを持ち込み、ゆっくりとドリップ。そんな時間をもっと楽しんでみました。「一杯のコーヒーと他愛もない話。これはないけど、深みのある時」「コーヒーが出てくるのを待つのではない、自分で豆を挽く。ポトポトと落ちてくるコーヒーを眺めながら、交わしている言葉」これは、自分がつくったかった時間と空間だったなあと思いました。そんな時間を持つてみたいと気付けない事がたくさんあると思います。ただ、自分からそんな事を創造しないかもしれません。私たちは、今を過ごすにも、当然何かを考えています。晩御飯の事や子どもの明日の行事の事、次の休暇の事、仕事の段取りの事、一年先の事、五年先の事、十年先の事。先の事になればなるほど、漠然としていたり、変更も生じるものでしょう。臨機応変に現実を見つめていけるように、コーヒータイムをつくりませんか。こぐま福祉会のロビーが、リニューアルされました。既に手狭ではありますが、少しでもゆっくりしていただける場所になればいいと思います。その一角が、待合の場ではなく、何も考えない時間やホッとする時間を提供できる場所になればいいなあと思っています。